

令和3年4月9日



麓っ子だより

浜松市立麓玉小学校

<学校教育目標> 自ら考え みがき合う子

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/aratama-e/>

学校教育目標「自ら考え みがき合う子」に向かって

校庭や昇降口の桜や花が子供たちを温かく迎えてくれました。いよいよ令和3年度の新学期が始まりました。学校では、子供たちの元気な声が響いています。改めて子供たちの健やかな成長のために、教育活動を進めて行くことの責任の大きさを感じております。職員一同、力を合わせて教育活動に邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、これから子供たちが生きていく未来は、予想することが困難な時代だと言われています。しかし、その社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していける、そんな力の基礎を小学校の6年間で育成したいと考えております。

上記に書きました力の基礎を育成するため、本校では学校教育目標を、「自ら考え みがき合う子」としました。この学校教育目標を達成していくため、目指す子供像を、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」と押さえ、様々な教育活動を行っていきます。

「やさしい子」では、お互いに挨拶を交わし合うこと、相手に対して優しい言葉遣いをすること、この2点を意識して子供たちに投げ掛けていきます。

「かしこい子」では、授業の見通しを子供たちにもたせることを中心に研究を進めてまいります。見通しをもたせることで、どの子も意欲的に参加できる授業を目指してまいります。さらに、自分の考えをもち、伝え合える場も設定してまいります。

「たくましい子」では、目標に向かってチャレンジしていくこと、心身の健康に気を付けること、この2点を子供たちに伝えていきます。

子供たちがこの目標に向かって活動することで、心・頭・体を自分自身で磨き、互いに磨き合える子供に成長してほしいと思っております。しかし、現在も新型コロナウイルス感染症対策は、避けては通れない状況です。最大限にリスクを避けながら、子供たちに充実した活動ができるよう職員全員で知恵を出し合っていきたいと思っております。そして、子供たちの思いを大切に、保護者・地域の皆様の御理解と御支援をいただきながら、充実した一年にしたいと思っております。



『麓玉小のシンボルツリー』

校長 西川 正師